

プレスリリース (仮訳)
監査監督機関国際フォーラム会合
2007年9月24, 25日 トロント

2007年9月24日及び25日に、21カ国の独立監査監督機関が、監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の第2回会合に参加した。IFIARメンバーの詳細については、IFIARのウェブ・サイト www.ifiar.org を参照のこと。本会合は、加パブリック・アカウントリテイナー・ボード (CPAB) の主催により行われ、議長は豪証券投資委員会 (ASIC) 委員のジェフリー・ルーシーであった。

金融安定化フォーラム (FSF)、証券監督者国際機構 (IOSCO)、バーゼル銀行監督委員会 (BCBS)、保険監督者国際機構 (IAIS)、公益監視委員会 (PIOB) 欧州委員会 (EC) も9月24日にオブザーバーとして参加した。

ポール・ボイル英財務報告評議会 (FRC) CEOが次期議長に、スティーブン・マイヨール蘭金融市場庁 (AFM) 事務局長が次期副議長に指名された。

当会合にて議論された主な分野は、以下を含む。

- 現在の市場の混乱によって生じえる監査監督機関への影響
- 監査の質の促進における監査検査の役割
- 規制当局間の情報交換
- 国際監査基準に関連する課題
- 監査市場における集中と選択
- 外国発行体の監査人の登録及び/又は届出に関する規制当局間の協力
- 監査検査技術に関するメンバー間のワークショップの開催
- 監査の質に関心を有する他の国際組織との対話の継続
- IFIARの今後の役割と組織

現在の市場の混乱

メンバーは、現在の市場の混乱及びそれに関連する可能性があり、特に監査監督機関が関心を有するといった評価、偶発債務、連結等課題について議論した。

今後もこの課題及び課題が監査監督機関に与える影響について一層の検討を行うことに合意した。

監査の質を促進する要因及び検査プロセス

メンバーは、以下の監査の質を促進する要因を含め、監査の質について、議論した。

- 監査法人内の文化
- 監査パートナー及びスタッフの技能及び個人の資質
- 監査プロセスの質(監査及び倫理基準を含む)
- 監査報告書の信頼性及び有用性

メンバーは、監査検査プロセスの重要性とそれから得られる効果について議論すると共に、検査プロセスの維持と必要に応じ監査の質を高める最善の方法を更に検討していく。

監査規制当局間の意見交換

メンバーは、国境を越えて行われるグループ監査及び国際的な監査ネットワークについての継続的な監督、調査及び執行活動に関する各国の規制当局間の情報交換に対する障害について引き続き検討を行う。

国際監査基準に関する課題

メンバーは、策定及び適用中である国際的な監査及び倫理基準について意見交換することの価値について議論した。

監査市場における集中と選択

メンバーは、監査市場における集中と選択の問題について検討するために、いくつかの国で採られる措置に関するレポートを受理した。

外国監査法人の登録

メンバーは、現在あるいは間もなく多くの国において実施される外国発行体の監査人の登録及び/又は届出の義務について意見交換を行った。

監査検査ワークショップ

監査検査は、引き続き IFIAR の焦点の中核となる分野である。2007 年 5 月にアムステルダムで開催され成功裡に終わったワークショップに続き、IFIAR は、メンバーに検査技術及び経験を交換し、あらたな課題について議論する機会を提供するために、次回ワークショップを開催することを決定した。2008 年の早期にベルリンで開催される次回ワークショップに向けて、優先課題を特定するため、ワーキング・グループが設立された。

他の国際機関との対話

IFIAR は、IFIAR が監査の質に最も効果的に貢献しえる分野について意見交換及び検討するために、監査の質に関心を有する他の国際機関との対話を継続する。

IFIAR の今後の役割と組織

メンバーは、設立以来 1 年にわたり果たしてきた IFIAR の機能について検討を行った。来年 4 月に行われる IFIAR の次回会合に向けて、IFIAR の今後の方向性、組織、リソース及びガバナンスに関する提言を行うために作業部会（タスク・フォース）を設けた。

次回会合

IFIAR は、次回会合については、ノルウェーのクレディティルシネット Kredittilsynet（ノルウェー金融監督庁（FSA））の招待により、2008 年 4 月にオスロで開催する予定である。